



5. 観光奈良の
魅力向上・発信

(35) 奈良インバウンド観光戦略20年ビジョンの策定と実行

これまでは

○インバウンド獲得は地域間の競争です。あらゆる観光魅力が整った観光地づくりが必要です。

- ・ 宿泊施設の質と量の充実(Accommodation)、滞在環境の快適性の向上(Amenity)、食の魅力向上(Appetite)、効率的な交通・道路体系の形成(Access)、自然・歴史・文化資源の保存・活用(Attraction)、楽しい奈良の実現(Amusement)
- ・ 魅力に実力があれば、来訪者自身が良い評価を上げてくれます(身替リピーター)

もっと良くするために

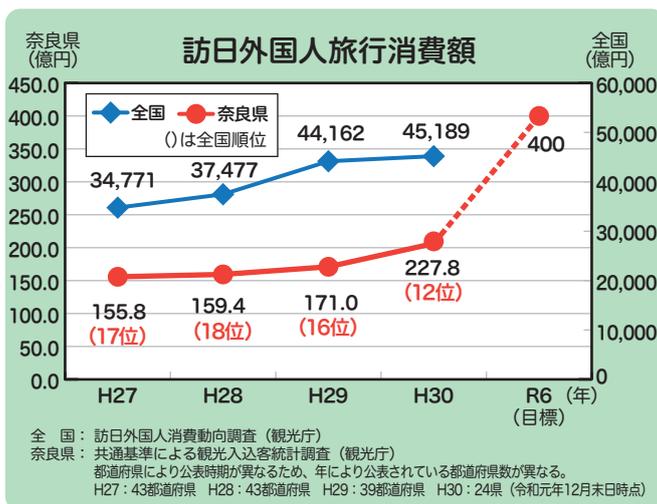
○リニア中央新幹線「奈良市附近駅」設置が見込まれる2037年を見据え、「奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン」を策定するとともに、市町村と連携してビジョンを推進します。

- ・ ビジョンの柱立て(案)
 1. 観光地としての奈良の魅力づくり
 2. 対外プロモーションの強化
 3. 国際交流等の推進
 4. 観光振興の土台づくり
- ・ 地域ごとに協議会を立ち上げ、ビジョンの策定と実行を図ります。

目指す姿

令和6年までに訪日外国人旅行消費額を400億円にします。

最近、外国人旅行者数は増えているけど、県内で宿泊する人は少ないこともあって、外国人の旅行消費額は少ないんだね。



宿泊して周遊してもらえると県内消費が増えるので、戦略を立てて取り組んでいきます。



主な取組

取組

奈良インバウンド観光戦略20年ビジョンの策定と実行

令和2年度

令和3年度

令和4年度

観光地としての奈良の魅力づくり、対外プロモーションの強化、国際交流等の推進、観光振興の土台づくり

意欲ある市町村との連携・協働による地域ごとの戦略の推進